



台東区立黒門小学校



きこえと
ことばの教室
QRコード

きこえとことばの教室

令和6年度 教室要覧



ことばを豊かに 心を豊かに

ことばやきこえに心配のある子供たちが
生き生きと学校生活を送ることができるように支援する教室です。

■ 所在地

〒110-0005

東京都台東区上野1-16-20

■ きこえとことばの教室直通TEL

03(3833)4984

■ きこえとことばの教室直通FAX

03(3839)5153

■ 開設年月日 昭和37年4月1日

■ 認可学級数

難聴通級指導学級1学級

言語障害通級指導学級3学級



※駐車場はございませんので、自転車でのご来校はできません。



こんな子供たちが通っています

発音が気になる

「さかな」→「たかな」
「がっこう」→「だっとう」
「ラッパ」→「ダッパ」

音を正しく発音できなかったり、
発音がはっきりしなかったりする。

話しにくそう

「ぼ、ぼ、ぼ、ぼく…」
「あ——のね」
「…ん、ん、ん—きのうね」

言葉のはじめをくりかえしたり、
のばしたりする。言葉がつまって出てこない。

言葉が幼い

年齢のわりに、知っている言葉が少ない。
話が伝わりにくい。
文字や文を読みまちがえたり、書き誤ったり
することが多い。

聞こえにくい

聞き誤りや聞き返しが多い。
呼んでも気付かないことがある。
補聴器や人工内耳を装着している。



指導の方法

■ 通級による指導です。

- 現在、通っている学校（在籍校）から決められた時間に
きこえとことばの教室へ通い、指導を受けます。
- 指導は、週1回90分程度です。

■ 個別指導が中心です。

- 一対一の個別指導を中心に、ことばやきこえの学習を行います。
- 必要に応じて難聴や吃音のグループ学習も行います。

■ 保護者・在籍校との連携を行います。

- 通級は、保護者の付き添いを原則とします。
- 保護者面談を行い、保護者との連絡を密にします。
- 在籍校及び関係諸機関と連携を取りながら指導を進めます。

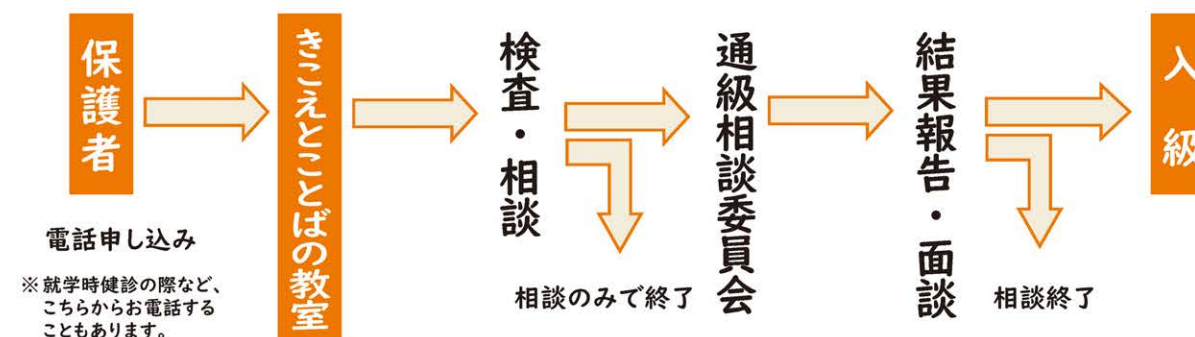


		月	火	水	木	金
I	8:45~10:15	★	★	★	★	★
II	10:40~12:10	随時相談 ケース会議	★	教室研究	★	教室会議
III	13:15~14:45	★	研究会	★	★	★
IV	14:55~16:25	★	研修会	★	★	★

★指導時間 低学年については、原則として午前中に通級するよう願っています。

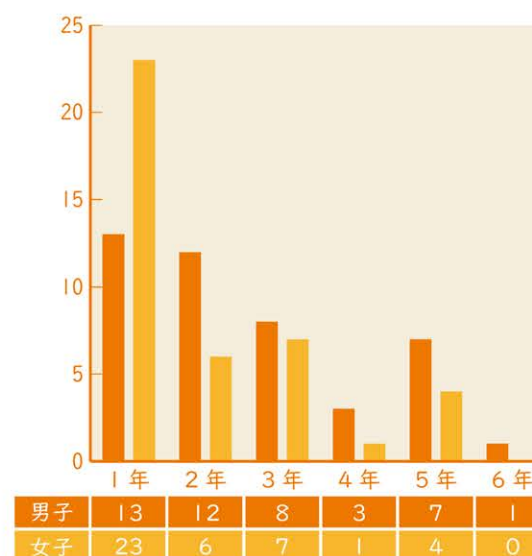


入級までの流れ

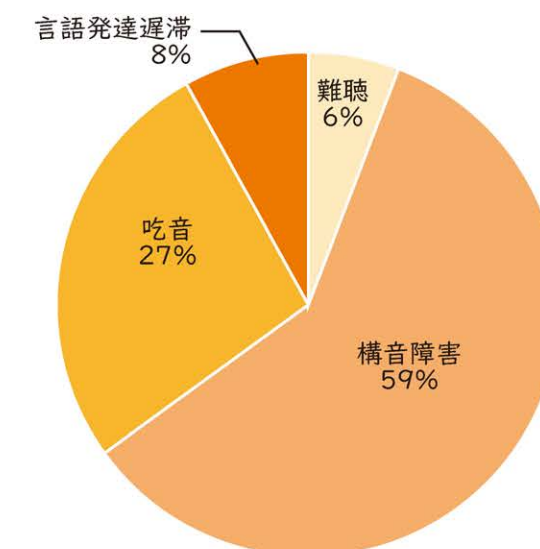


通級児童数（令和5年4月～令和6年3月）

1. 学年・男女別通級児童数



2. 主訴別割合



3. 在籍校別通級児童数

学校名	難聴	言語	合計	学校名	難聴	言語	合計
1 上野小学校	0	6	6	11 台東育英小学校	0	3	3
2 平成小学校	0	4	4	12 蔵前小学校	1	6	7
3 根岸小学校	1	5	6	13 東浅草小学校	0	5	5
4 東泉小学校	0	4	4	14 富士小学校	0	1	1
5 忍岡小学校	0	5	5	15 松葉小学校	0	5	5
6 谷中小学校	0	2	2	16 千束小学校	0	2	2
7 金曽木小学校	0	6	6	17 石浜小学校	0	4	4
8 黒門小学校	1	5	6	18 田原小学校	0	4	4
9 大正小学校	2	3	5	19 金竜小学校	0	3	3
10 浅草小学校	0	7	7	合計	5	80	85

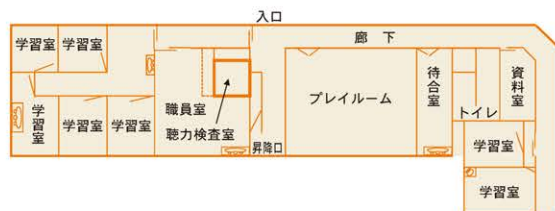
主な年間行事

- 4月 保護者会 保護者面談
1学期通級開始
- 5月 在籍校訪問
- 7月 1学期通級終了
在籍学級担任による通級指導参観
- 9月 2学期通級開始
- 12月 2学期通級終了
就学時きこえとことばの相談
- 1月 3学期通級開始 保護者面談月間
- 3月 おわりの会 3学期通級終了

【その他】

- ・吃音グループ学習
- ・きこえグループ学習
- ・黒門小学校2・4・5年生への理解啓発授業

教室の配置



- ・学習室1～7
- ・職員室
- ・聴力検査室
- ・プレイルーム
(待合室)
- ・資料室
(総面積345㎡)



教室の沿革

昭和37年、東京都内の5区6校に難聴学級が設置された。その一つとして、台東区では西町小学校に難聴学級が設置され、その翌年にはわが国で初めて難聴学級に通級制を実施した。昭和39年には、新たに言語障害学級を併設し、以来、聴覚や言語に障害のある児童の教育を実施してきた。

平成8年度末で西町小学校が廃校となったため、上野小学校所属を経て、平成11年度より黒門小学校所属となった。令和4年度に難聴学級創設60周年を迎えた。

- 昭和37年 4月 西町小学校に難聴学級2学級設置認可
- 37年 7月 都難聴児教育研究会発足事務局となる。
- 37年 9月 開級式(児童6名)
- 38年 1月 通級制を試行実施
- 39年 1月 区内全校の就学時健診で「きこえとことばの検査」実施(以後毎年実施)
- 39年 9月 言語障害学級1学級併設(難聴2学級、言語1学級)
- 40年10月 文部省指定実験校(3年間)研究報告会(中村梅吉文部大臣出席)
- 44年 4月 難聴学級1学級減(難聴1学級、言語1学級)
- 45年 2月 区内在校児童・生徒「難聴・言語相談検査」実施(以後毎年実施)
- 46年 4月 言語障害学級1学級増(難聴1学級、言語2学級)
- 46年 5月 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会(全難言協)初代事務局
- 48年 2月 全難言協第1回全国大会(於 台東区民会館)大会事務局
難聴学級創設10周年記念誌発刊
- 49年 4月 区教育研究所相談室による相談受付、教室担当者兼務
- 51年 4月 言語障害学級1学級増(難聴1学級、言語3学級)
- 52年 3月 台東区教育奨励研究「普通学級と難言教室の協力指導」
- 55年 2月 台東区教育研究会心身障害教育研究部発表
「5～6歳児の語文表現力と場面認知」
- 56年11月 難聴学級創設20周年記念式典、記念講演会、記念誌発刊
- 57年 3月 台東区教育奨励研究「言語指導の絵教材と系統的活用法」
- 60年 3月 台東区教育奨励研究「難言教育とコンピュータの活用」
- 60年11月 全難言協全国大会発表「パソコンの活用と自作ソフトの問題点」
- 63年 2月 台東区教育研究会心身障害教育研究部発表「通級児の問題の多様性」
- 平成 元年 4月 言語障害学級1学級減(難聴1学級、言語2学級)
- 5年 3月 難聴学級創設30周年記念誌発刊
- 5年 4月 難聴児減少のため難聴学級担任1名へ減員
国・都「通級による指導」実施
- 5年11月 教室全面改装完了
- 8年 4月 言語障害学級1学級減(難聴1学級、言語1学級)
- 9年 4月 上野小学校へ所属移管(教室所在は旧西町小学校校舎内)
- 11年 4月 黒門小学校へ所属移管
言語障害学級1学級増。難聴児増加のため難聴学級担任2名へ増員
(難聴1学級、言語2学級)
- 11年 9月 黒門小学校校舎内に移転
- 12年 2月 台東区教育研究会心身障害教育研究部発表
「きこえとことばの教室における相談活動ー三つの相談活動を通してー」

- 12年 4月 難聴児減少のため難聴学級担任1名へ減員
(難聴1学級、言語2学級)
- 12年 7月 全難言協全国大会発表「人工内耳を装着しているA児の指導について」
- 14年 9月 台東区心身障害学級担任研修会授業研究
「聴覚や言語に障害のある児童の個別指導の工夫」
- 15年 3月 40周年記念きこえとことばの教室紀要発刊
- 17年11月 台東区心身障害学級担任研修会授業研究
「コミュニケーションに課題のある児童への支援」
- 18年 4月 言語障害学級1学級増(難聴1学級、言語3学級)
- 22年 3月 台東区教育支援館兼務指導員としての幼児の指導終了
- 22年10月 台東区教育研究会特別支援教育研究部発表
「きこえとことばの教室の運営システムと教育内容」
- 25年 3月 50周年記念きこえとことばの教室紀要発刊
- 25年 4月 難聴児増加のため難聴学級担任2名へ増員
- 25年 6月 台東区教育研究会特別支援教育研究部発表
「構音と読み書きに課題がある児童への指導」
- 27年 4月 言語障害学級1学級増(難聴1学級、言語4学級)
- 28年10月 台東区教育研究会特別支援教育研究部発表
「読み書きに課題がある児童への支援」
- 29年 4月 黒門小学校(西側)改修工事のため仮設校舎へ移転
- 29年12月 黒門小学校(西側)改修工事終了
- 31年 3月 黒門小学校全改修工事完了
- 令和 2年 3月 「令和元年度台東区教育委員会優秀団体奨励賞」表彰
- 4年 4月 難聴学級 創設60周年
- 5年 4月 言語障害学級1学級減(難聴1学級、言語3学級)
- 5年12月 台東区教育研究会特別支援教育研究部発表
「お互いを認め合う共生社会を目指した理解啓発授業」

